

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム

後援会便り <No.34号> 2013年 12月1日発行



## ごあいさつ

駅も公園も、そして民家まで趣向を凝らしたイルミネーションが点され冬枯れの街を温めてくれるようです。

今年も残すところ後わずかとなりましたが、過日 嬉しいニュースがありました。小笠原諸島に新たな島が誕生した報道です。少子化が深刻な昨今“増す喜び”は久しぶりの朗報となりました。

一方、国会では国家の機密を保護する法案“特別秘密保護法案”の審議がなされていますが、それは即ち国民の知る権利を損なうものでもあり、その採択・成立は国際的な基準に合致するものでなければなりません。

国際人権規約に則り政府の秘密は最小限に止めるよう求められますが、現在の法案では政府の透明性が低下し国際批判を浴びかねない状況。今後も与野党間で審議を重ね、国民の理解が得られる法案作りを願っています。

さて、刈谷市議会も12月定例議会が始まりますが、補正予算他各議案のいずれにも真剣且つ慎重審議に努めて参りたいと思います。

## 刈谷市議会議員

【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel.	0566-36-3870
Fax.	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp



## 歳時記

12月 4日 (水) 人権週間(～10日)	シベリアから 強い季節風とともに
7日 (土) 大雪	やって来る、厳しい寒気“冬将軍”。
13日 (金) 事始め・煤払い	彼のナポレオンの軍隊さえも、これにあっては適わず 退却しました。
22日 (日) 冬至	
23日 (月) 天皇誕生日(祝日)	インフルエンザの猛威もこれから。
25日 (水) クリスマス	温かな風呂上り、からだを冷やさぬ
31日 (火) 大晦日・大祓い	ようご留意下さい。

# 伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



柔かな陽差しが注ぐ 心地好いフロアー。こだわりのメニューは、無農薬・無肥料 無添加の上 お洒落でとてもお値打ちです。さて、ここはどこでしょう？



11/1発行の<No.33>の答えは、高須町の広大な農地に点在、凜と並び立つ楠の樹でした。依佐美通信所を支えた全部で8本の鉄塔址を指し示しながら、静かに見守っています。

## “第九”への招待 ☆

クラシックにあまり興味を示さない人も、ベートーベンの“交響曲第九番二短調”はご存知でしょう。それほど有名で、全世界に愛される第九です。

今では、日本の年末を彩る大きなイベントのように定着している演奏会。初演は1824年、作曲者ベートーベン自身の指揮により、大成功を収めました。第二楽章が終わった時 早くも聴衆の大喝采に演奏が中断、演奏後には5回も万歳がかかって、警察官が制止したと記されています。

日本での初演は1918年、戦時中 徳島に収容されていたドイツ人捕虜達のオーケストラの演奏が感動の渦を起こしたことは、想像に難くありません。

時に“合唱付き”と表されますが、それまでの交響曲には珍しく画期的なものでした。シラーの詩“歓喜に寄す”に曲をつけた第四楽章 歓喜の主題はヨーロッパ全体を称える“欧州の歌”として採択されているほどです。

毎年12月に、第九を演奏するという恒例化に貢献したのは、NHK交響楽団、今は全国展開です。聴衆ではなく歌う側に回ってみるのはいかが？

## 12月の行事予定

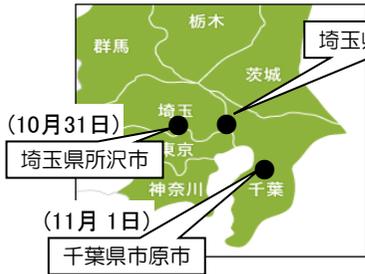
12月 3日 (火)	会派定例連絡会
4日 (水)	～6日(金)12月定例議会 本会議
8日 (日)	地元神社 新嘗祭
10日 (火)	連合愛知朝街頭活動
	～13日(金)各種常任委員会
19日 (木)	予算審査委員会・議会運営委員会
20日 (金)	12月定例議会 本会議

“まじめに  
コツコツ、即行動”  
頑張ります!!



# 11月のフットワーク

## 議会運営委員会 行政視察報告



所沢市役所前にて撮影



### 【視察テーマ】

- ◆ 議会の災害対応について (越谷市・市原市)
  - ◆ 議会基本条例の運用について (所沢市・市原市)
- 【視察委員】 前田 秀文(委員長) 白土 美恵子(副委員長)  
 星野 雅春(委員) 山本 シモ子(委員) 加藤 賢次(委員)  
 黒川 智明(委員) 伊藤 幸弘(委員) 行政当局から2名

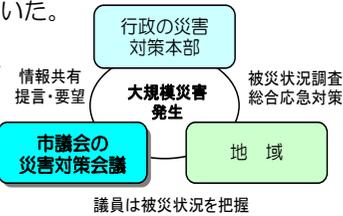
### <議会の災害対応について>

刈谷市議会は大規模災害発生時、議会および議員が果たす役割や為すべき行動を示したものはなく、議会としての危機管理対応について今後考えなければならない時がきている。

今回訪れた2市では、震度5弱以上の地震および風水害等の大規模被災発生時には、行政の災害対策本部と同時に議会も災害対策会議を設置し、議員は地域の被災状況の把握に努め、議会は議員からの報告を集約整理し、行政の災害対策本部に対し、情報提供や提言・要望等を行う仕組みが出来ていた。

越谷市では9月に発生した竜巻被害の時、議会による支援活動が機能した。また、市原市では議員が携行できる「災害対応手帳」も準備されていた。

刈谷市議会も市民を代表する機関として、有事の時こそ、その役割が果たせる仕組みの構築に向け、検討を急がなければならないと感じた。



### <議会基本条例の運用について>

刈谷市議会は、去る9月議会で議会基本条例を制定し、現在はその運用で特に反問権と議員問討議の進め方を中心に検討を図っている。今回は既に議会基本条例を制定し、成果を上げている2市の運用状況と課題について勉強を行ってきた。

#### <反問権行使について>

(反問とは、会議において議員の質問に対し、当局側が議員に逆質問すること)

刈谷市議会では、反問内容に特に制限はしていないが、2市とも論点整理のための反問となっており、市原市では対案を求める反問は慎むこととなっていた。

#### <議員問討議について>

【議員問討議とは：常任委員会で議員同士が議案に対し採決の課程で議論すること】



2市とも議案審議の場合、議案修正を求める討議や行政施策の内容についての討議が中心で、予め議員問討議のテーマが諮られる進め方がされていた。

反問権も議員問討議も不毛な議論を避けるための一定のルールが必要と感じた。

## 西三河4市議会 研修会に参加して参りました。

【日時】11月19日(火) 14:00~16:00

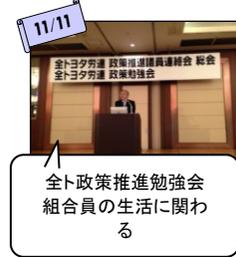
【場所】岡崎市図書館交流プラザりぶら ホール

【講師】金井 利之氏 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授  
 【演題】「地方議会議員の役割と地方議会のこれから」



- 1) 二元代表制の意義  
二元代表制とは、地域住民が自治体の首長と議会の議員を直接選挙で選ぶ仕組みで、首長は政策の執行権、議会は政策決定権を有し、双方が車のアクセルとブレーキの役割を持ちながら切磋琢磨する関係、一方が強力化すれば住民のためにならない⇒抑制均衡(チェック&バランス)の運営が重要
- 2) 議員の役割… 首長は一人 (多数派から選ばれた代弁者) 全体利益を考える。議員は多人数 (少数派から選ばれた代弁者) 部分利益を訴える。
- 3) 議会の役割… 少数派・部分利益の代弁者の合議体 ⇒ 意思決定しにくい機関だが、「粘着性」のある審議が議会の強み(“ゴキブリ・ホリイ”のような役割)
- 4) 議会と住民… 意思決定過程での住民参加を工夫する必要がある。(住民は決まったものには興味が薄い⇒決まる前の説明を求めている) 施策に対し、議会側は執行部側に住民意見を聞いたかを指摘すべき。

## 各種行事に参加しました。



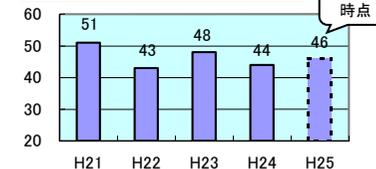
## ★★★ 市政ピックアップ ★★★

冬は火災が多い季節  
 くれぐれも 火の用心!!

今年は10月末までで46件発生

建物火災	車両火災	その他
19件	6件	21件

### 刈谷市の火災発生状況(件数)



今、地域を守る消防団員が年々減って来ています。刈谷市消防団では団員を募集しています。地域の安全安心に一役買って見ませんか…!!



### 刈谷市の消防団員定数と入団員数

